

6月15日：警戒感の中でまちまちの動きに

ベトナム株はまちまちの動きの中でわずかに下落、投資家は警戒感を強めたが、外国人投資家は資金を注入し続けた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.45ポイント（0.04%）安の1,116.97ポイントで取引を終えた。水曜日には5ポイント下落していた。

取引開始後は大型株を中心に上昇したが、その後は下落し、1ポイント安で午前の取引を終えた。

投資家の警戒感から下落トレンドに繋がっていった。

中長期では、依然として楽観的な見通しだとサイゴンハノイ証券は語っている。

VN指数は1,000-1,150ポイントで根固めをしている。経済環境が好調で、資金流入が続くならば、上昇トレンドは続くだろう。

騰落別では値下がり銘柄数が上回った。流動性は低下した。

出来高は23%減、売買代金は22.4%減となった。

VN30指数は2.03ポイント（0.18%）安の1,108.57ポイントで取引を終えた。15銘柄が下落し、11銘柄は上昇した。

ビンホームズ（VHM）の下落が相場を最も押し下げていた。

その他、サイゴンビール（SAB）、ビナミルク（VNM）、マサングループ（MSN）、ビンングループ（VIC）といった銘柄も振るわなかった。

一方、いくつかの大型株、特に銀行株は好調だったが、指数をプラス圏に押し上げることは出来なかった。

証券セクターも好調でVNダイレクト証券（VND）やSSI証券（SSI）が大きく上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.62%高の229.53ポイントで取引を終えた。

出来高は9,130万株、売買代金は1.6兆ドンだった。

外国人投資家は買い越しを続けている。両市場合わせて 4,100 億ドルを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。